

令和2年度第3回士別市教育委員会会議録

1. 日時 令和2年5月14日(木) 午後3時03分～午後4時08分
2. 会場 教育委員会 会議室
3. 出席者
- | | | | |
|-------|---------|-------------|---------|
| 教育長 | 中 峰 寿 彰 | 生涯学習部長 | 鴻 野 弘 志 |
| 職務代理者 | 五十嵐 紀 子 | 合宿の里統括監 | 三 上 正 洋 |
| 委員 | 馬 場 千 晶 | 学校教育課長 | 須 藤 友 章 |
| 委員 | 加 藤 洋 之 | 社会教育課長 | 武 山 鉄 也 |
| 委員 | 山 田 敦 久 | 学校教育課副長 | 友 田 正 樹 |
| | | 学校教育課学務係主事 | 三 谷 庸 介 |
| | | 学校教育課管理係事務員 | 城 守 爽 音 |

4. 議 件 (発言者、議事要旨及び議決事項)

○中峰教育長あいさつ

本日、国の新型コロナウイルス感染症対策本部会議が開催される。この会議の結果を受けて、明日の朝には本市でも対策会議を開催する予定である。39県では緊急事態宣言が解除されるが、北海道を含む8都道府県は継続される見込みである。北海道は広大であることから、振興局単位で対応が変わるものと考えている。社会教育・体育施設についても一定の方針が示されると想定している。

お知らせしたとおり、5月7日・8日に分散登校を実施したが、児童・生徒の健康状態を確認するための最低限の登校とした。18日以降は、6月からの学校再開を見据えた分散登校を実施するため、校長会などと協議を行い、1週目には週当たりの授業総時数の4分の1、2週目は2分の1程度を想定し授業を実施する。授業を行う際は、密になる状況を作らないため、1クラスあたりの児童・生徒数は20人までと定められていることから、中央地区の学校ではクラスを2つに分ける必要があり、1日おきに登校することとした。公平性などの観点から、周辺校も1日おきとする。26日からの4日間は、給食も提供する予定である。

市の社会教育・体育施設については15日まで休業だが、図書館は貸し出しと返却のみに限定し対応している。明日の会議で決定するが、図書館は今の状態を月末まで継続する考えである。いぶきや文化センターなど団体が利用する施設は、利用人数や部屋の広さを考えたうえで、開館するか判断する必要がある。歌を唄うような活動については、もう少し我慢していただきたい。

今日は奨学生の選定について協議いただくが、申し込みは予定人数の半数ほどであった。新型コロナウイルス感染症によって、学生を取り巻く環境も厳しくなっている中、これから奨学金の貸与を希望する方がいれば、予算の範囲内で随時対応したいと考えている。

また、本日の教育委員会会議終了後には総合教育会議を開催する。牧野市長からCOVID-19関連の経済対策について説明いただく予定。

本日もよろしく願います。

1 議事について

○中峰教育長 進行

議案第7号 令和2年度士別市教育委員会補正予算について説明を求める。

○鴻野部長

サンライズホールの屋根が雨漏りしているため、腐食箇所を特定し修理を行う。総合体育館アリーナ

の暖房機は以前土別中学校体育館で使用していたものを建て替えの際に移設したものの、老朽化により故障したため更新する。

○三上統括監

本市の陸上競技場は日本陸連の認定を受けているが、日本陸連のルール改正によりリレーバトンゾーンが10メートル延びたため改修を行うもの。

○須藤課長

GIGA スクール構想では、令和5年度までに児童・生徒一人に一台の端末を整備することとされていたが、国の補正予算成立に伴い、計画を前倒して本年度中に整備を終えるよう通知があった。

そのため、小中学生全員に一台ずつ端末を整備するほか、ネットワーク工事の経費や、光回線が通じていない地区で使用するLTE回線の通信料、インターネット接続環境がない家庭に貸与するための通信機器、GIGA スクール推進のためサポーターを配置する経費を計上した。また、学校の長期休業で減少している授業時数を夏・冬休みなどの長期休業期間に授業を行うことで確保することも想定されるため、特別支援教育支援員や心の教室相談員、適応指導教室支援員のほか、給食センター調理員の報酬についても要求する。

○中峰教育長

22日の市議会臨時会には、新型コロナウイルスによる経済対策に関わる経費について補正予算を計上する予定だが、説明のあった補正予算は6月に開催する第2回定例会に提案することになる。本市には新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の一次配分として1億3千2百万円が配分された。一次配分は飲食店などへの応援金のような、市単独事業が対象である。GIGA スクール関係の経費約1億円は二次配分の対象になる見込みだが、配分額などの詳細は明らかになっていない。家庭に貸与する通信機器は、その必要性が認められ、補助金のメニューに加わった。オンライン授業を実施するには、家庭でのインターネット環境を把握しなければならないため、至急調査を行っている。

○加藤委員

メーカーや機種は決まったのか。

○須藤課長

中央地区の学校は光回線が通っているためWi-Fi接続とするが、光回線が通っていない学校ではLTE回線を利用する。どのメーカーにもメリット・デメリットがあるが、安価に整備が可能であるグーグル社のクロームブックを選定する予定。

○中峰教育長

これまでパソコン教室の機器は、マイクロソフト社のウインドウズを整備していた。国は一台あたりの補助単価を4万5千円と定めており、超過した金額は自治体の持ち出しとなる。ウインドウズの場合は、本体以外にセキュリティなどの経費が必要となり、補助単価を上回ってしまう見通しである。周辺地区の学校は携帯電話の通信方法を準用したLTEモデルを活用することにより、多額の改修を行わずに高速通信環境を確保する。

※ 議案第7号 了承

○中峰教育長

議案第8号 新型コロナウイルス感染症への対応について説明する。

あいさつでも申し上げたとおり、学校では分散登校を予定している。土別中学校では教室が密にならないよう生徒の出席番号を奇数と偶数に分け、登校する日を指定している。周辺校では教室が密になる恐れがないため、毎日登校することも可能であるが、中央地区の学校と授業時数が大きく乖離しないように登校日を設定した。東高校は小・中学校と比較すると、登校日も授業時数も少し多く設定して

○加藤委員

子どもたちの生活習慣が乱れている状況にあり、学校再開は良いと思うが、感染リスクをどう考えるか。今後も第2波、第3波と感染拡大の恐れがある。

○中峰教育長

北海道知事の会見では大規模なクラスターに発展させないことなどの注意を呼びかけていた。コロナウイルスの対策は長期戦を覚悟し、付き合っていくとの考え方。最大限にリスク管理したうえで、学びの機会を保障していくため、保護者に理解いただきたい。今後実施する分散登校は「授業日」の扱いになる。

○五十嵐職務代理者

新型コロナウイルス流行前と同じ状態に戻るという考え方を改めて、「新しい生活様式」を取り入れつつ緊張感を持った生活をしなければならない。

○中峰教育長

日本赤十字社は「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」という資料を作成し、ホームページで公開している。これから我々がウイルスとどう向き合っていくかを考えるうえで参考になる内容であった。学校で児童・生徒にオリエンテーションを行い、帰宅後に家族と話すことによって、保護者も理解が深まればよいと思う。

○五十嵐職務代理者

一回で全て覚えることは難しい。何度も呼びかけるようにしてもらいたい。

※ 議案第8号 了承

○中峰教育長

議案第9号 士別市立学校職員服務規程の一部を改正する規程について説明を求める。

○須藤課長

本規程は市立学校に勤務する教職員の服務について定めたものだが、北海道立学校職員服務規程の一部が改正され、営利企業等に従事する場合の届出について追加されたため、本市の規程も同様に改正する。

○中峰教育長

公務員は原則的に副業が禁止されているが、その内容等によっては、届け出ることで認められている。夏休み等の期間に大学などから非常勤講師の依頼があった場合にも必ず届出のうえ従事している。例えば家業として商店を営んでいる場合などもあり、そうしたケースへの対応も挙げられる。

※ 議案第9号 了承

○中峰教育長

議案第10号 令和2年度士別市奨学生の選定については秘密会とする。

(午後3時50分 秘密会を宣する)

(午後4時08分 秘密会を解く)

※申請のあった12件について審議した結果、全員を士別市奨学生と決定した。

2 その他について

当面する今後の日程について

鴻野部長説明。

午後4時15分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者 中 峰 寿 彰

会議録調整者 須 藤 友 章